

令和三年二月二十八日 希望の光勉強会

神 示

「教え」に気付きを得て 心を磨き 高める努力をする

この「悟り」が 信者の人生を 大きく守り 導いてゆく

人間は 運命実体を軸に 有限の時を生きるもの

この一言「真理」を心の支えに生活するほど

気持ちは安定し 迷う思いは消えてゆく

神見るに 皆は「教え」に生きる心が弱い

弱いゆえに 周りの環境に「心」のまれ

自信が持てずにいる

なぜ 「教え」を家族で学ぶ

「真理」で重なる家庭を築くことが大切か

この問いの答えが正しく持てたとき

人間は「人生」を支える軸が持てる

今「心」正し なすべきことを教えよう

「教え」を学び 我が心の姿を見詰めて 日々生きる

心の迷いは治まり 奉仕の心が芽吹き始める

人間は 「正道」を知り 守るところに

「運命」の力が引き出され

「夢」ある人生を歩んでゆける